

2019年秋学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
クリスチャン生活

メッセージ 2

クリスチャン生活の内容——手順を経て究極的に完成された三一の神
聖書：ヨハネ14:6-20. IIコリント13:14. 3:17. エペソ3:14-17前半. 2:18

I. 真のクリスチャン生活は、手順を経て究極的に完成された三一の神で満たされた生活
です——エペソ3:14-17前半：

- A. 神聖なエコノミーにおいて手順を経て究極的に完成された三一の神が、クリスチャン生活の内容です——IIコリント13:14. エペソ3:14-17前半。
- B. 手順を経て究極的に完成された三一の神は、ヨハネ第14章6節から20節に啓示されています。これらの節に基づいて、キリストが神聖な三一の中心であって、御父を表現し、またその霊として実際化されているとすることができます：
1. 過程を経る前、神は神にすぎず、人ではありませんでした。過程を経た後、彼は神と人の両方になりました。なぜなら人の要素が彼に加えられたからです——1:14. ローマ1:3-4：
 - a. キリストは、この人性を彼と共に復活の中にもたらし、引き上げて、神聖な人性としました——8:29. 使徒16:7。
 - b. 主イエスは昇天において、神と人の両方であり、神性と人性を持っています——1:11. 7:56。
 - c. これらは彼のパースンの基本的な要素であり、これらの基本的で個人的な要素はクリスチャン生活の基本的な内容です——コロサイ1:27. 3:4。
 - d. キリストは、手順を経て究極的に完成された三一の神として、今やすべてを含むパースンです——ヨハネ14:6-20. ピリピ1:19。
 2. キリストのすべてを含む死と復活を伴う、すべてを含む霊はクリスチャン生活の内容、わたしたち信者が召会生活のためにクリスチャン生活を生きるための要素となりました——使徒16:7. ローマ8:9-10, 4. ピリピ1:19。
- C. クリスチャン生活の意味は、キリストにある信者が手順を経て完成された三一の神を、彼らの日ごとの生活のための霊的な存在の実質として持つことです——ガラテヤ5:16, 25. ローマ8:4後半：
1. 究極的に完成されたその霊としての手順を経て究極的に完成された三一の神が、わたしたちの霊的な存在です——ヨハネ7:37-39. 20:22. IIコリント3:17。
 2. わたしたちは三一の神によって生き、三一の神によって歩き、三一の神にしたがってあらゆることを行ないます——エペソ3:14-17前半。
 3. クリスチャン生活は、わたしたちの中の究極的に完成されたその霊としての、手順を経て究極的に完成された三一の神の生活です——Iコリント15:45後半. 6:17。

Ⅱ テモテ4:22。

Ⅱ. わたしたちは完成者、手段である子なる神を通して、執行者、適用である霊なる神の中で、創始者、唯一の源である父なる神に近づきます——エペソ2:18 :

A. わたしたちは地位的に神と和解させられましたが、経験的に御父に近づきます——16, 18節 :

1. 神と和解させられることは救われることであり、御父に近づくことは神を享受することです。
2. 御父に近づくことは、わたしたちの享受のために神と接触することです。一度限り神と和解させられたので、わたしたちは今や絶えず享受するために御父に近づきます——ヨハネ14:6。
3. わたしたちは神と接触するとき、キリストを通して、その霊の中で、御父へと、神に來ます。これが、わたしたちの経験と享受における三一の神です——エペソ2:18。

B. 御父は御子を通して、その霊の中で來ましたが、今や、その霊は御子を通して、わたしたちを御父へと連れ戻します。この奥義的な双方向の交わりを通して、わたしたちは三一の神の分与を享受します——Ⅱコリント13:14. エペソ3:16-17前半。

C. わたしたちは主の御名を呼び求めて、主を経過するとき、その霊の中にいます。なぜなら、御子とその霊は一であり、また、その霊は御子の名の実際であるからです。わたしたちはその霊の中にいるとき、御父へと近づきます。なぜなら、御父と御子は一であるからです——Ⅰコリント12:3. ヨハネ10:30。

D. 真理によれば、三つの段階があります。すなわち、御子を通して、その霊の中で、御父へと近づきます。しかしながら、わたしたちの実際経験においては、一つの経験の三つの面があります :

1. わたしたちが主を信じる時、わたしたちはその霊の中におり、御父へと近づきます——エペソ2:18。
2. いったん主の御名を呼び求めると、わたしたちは直ちにその霊の中で、御父へと近づきます。なぜなら、御父、御子、その霊は一であるからです。

E. 御子を通しては、三一の神を通してであり、その霊の中では、三一の神の中であり、御父へとは、三一の神へとです。そのようにして、わたしたちは三一の神を経験します——18節。

F. ルカ第15章の神聖な三一の順序は、エペソ第2章18節のそれと同じです :

1. 新約全体においてルカ第15章は、罪人に対する三一の神の愛を特別強調すると共に、神聖な三一の奥義を最も明確に啓示している章です。
2. 主イエスは三つのたとえを語って、神聖な三一がいかに働いて、御子を通して、その霊によって、罪人を御父へと連れ戻すかを描写しています。
3. ルカ第15章の順序は、御子で始まり、その霊まで進み、御父へと至ります。この奥義的な順序は、キリストの贖いに基づく神の救いの段階にしたがっています。
4. 御子は牧者として来て失われた羊を探し (3-7節)、その霊は女として家を明るくし、ついに失われた貨幣を見つけ (8-10節)、御父は戻って来た息子を受け入れます (11-32節)。これは、贖う御子、聖別する霊、受け入れる御父を伴う、神聖な三一の神聖なエコノミーを示しています——ローマ3:24. エペソ1:7. Ⅱテサロニケ2:13。